



補正予算など18案件を審議、承認、可決 市議会12月定例会



市議会12月定例会が11月28日(木)から12月10日(火)まで行われました。補正予算など18案件が審議、承認、可決されました。ここでは、主な議案を紹介します。

議 案

市地震等災害対策基金条例の制定

県第4次地震被害想定や台風などの大規模災害に対して計画的に実施する必要がある災害対策に必要な経費の財源を確保するため制定しました。

市職員定数条例の一部改正

消防体制と救急体制を充実するため、消防機関の職員定数を72人から77人に改めました。

市教育委員の任命

市教育委員として風間忠純^{ただつぐ}氏を新たに任命することについて同意しました。任期は田村吉章氏の残任期間の平成27年9月30日までです。

※12月15日号でお知らせしましたが、12月2日付けで教育長に就任しました。

建設工事請負変更契約の締結

平成25年度防災・安全交付金事業市道2-29号線道路改築工事(橋梁^{りょう}上部工)は、1億5,550万5,000円で契約を結んでいましたが、工法の変更により請負金額を1億6,358万2,650円に変更することを承認しました。

物品購入契約の締結

平成25年度東富士演習場関連公共用施設整備事業により購入する、学校給食センターの備品購入契約は、3,024万円で東静岡調理機株式会社と契約することについて承認しました。

補正予算

一般会計補正予算(第6回)

既定の予算総額から1,000万円を減額し、歳入歳出予算総額をそれぞれ199億7,900万円としました。歳入・歳出の主な内容は以下の通りです。

歳出の主な内容

- ・職員給与減額分を防災減災事業に活用するための地震等災害対策基金への積み立て
- ・公用車の更新のための車両管理費の増額
- ・2市1町で開催する富士山世界遺産まつりの負担金
- ・県からの緊急地震・津波対策事業交付金を防災事業に活用するための地震等災害対策基金への積み立て
- ・寄付金の社会福祉事業基金への積み立て
- ・介護給付費の増などに伴う介護保険特別会計操出金の増額
- ・障害者福祉費の訓練給付費などの見込み増による総合支援給付費の増額
- ・新築住宅工事への助成の増に伴う住宅建設等促進事業補助金(※)の増額

※市内業者が施工する居住部分の面積が50㎡以上の新築住宅工事を最大50万円補助

- ・助成対象企業の増に伴う企業立地促進事業費補助金(※)の増額

※該当する生産・研究開発、流通加工などに係る設備投資費の最大5,000万円を補助

- ・市道新設改良工事費などの増に伴う道路新設改良費の増額
- ・国庫補助対象事業費の確定に伴う裾野駅周辺整備費の減額

歳入の主な内容

- ・障害者福祉費の訓練給付費などの支給見込み増によ

る総合支援給付費の増額

- 土地区画整理費補助金の確定による都市計画費補助金と都市計画事業債の減額
- 緊急地震・津波対策事業交付金の交付
- 千福が丘の市有地（みはらし公園）に NEXCO 中日本が新東名高速道路敷地として区分地上権を設定することによる収入

市国民健康保険特別会計補助予算（第3回）

一般被保険者療養給付費の見込み増などに伴い、既定の予算総額に 1 億 3,907 万 5,000 円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 53 億 6,184 万 2,000 円としました。

市介護保健特別会計補正予算（第3回）

各介護サービス給付費の見込み増などに伴い、既定の予算総額に 2 億 6,128 万 2,000 円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 28 億 5,734 万 5,000 円としました。

市十里木高原簡易水道

特別会計補正予算（第1回）

消費税還付金の一般会計への繰り出しに伴い、既定の予算総額に 108 万 2,000 円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 4,108 万 2,000 円としました。

市下水道事業特別会計補正予算（第2回）

給料などの減額や一般会計繰入金の増額に伴い、既

定の予算総額に 78 万 6,000 円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 10 億 6,814 万 3,000 円としました。

市墓地事業特別会計補正予算（第1回）

管理棟建築工事に伴い、既定の予算総額に 1,860 万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 1 億 100 万円としました。



管理棟建設予定地

市水道事業会計補正予算（第2回）

給料の減額などに伴い、収益的支出の営業費用を 90 万 3,000 円減額し、資本的支出の建設改良費を 29 万 6,000 円減額しました。

一般会計補正予算（第7回）

裾野駅西土地区画整理事業物件移転補償費について債務負担行為の設定について可決されました。



大橋 俊二

退任の挨拶

20年間のご協力に感謝

私は、多くの市民の皆様を支えられ、5 期 20 年の間市長を務めましたが、1 月 28 日の任期満了に伴い市長の職を退任することとしました。

振り返ると、20 年前に市長に当選して以来、「健康文化都市」そして「暮らし満足都市」の実現をめざし、様々な事業に取り組んできました。医療・福祉施策では、健康増進施設「ヘルシーパーク裾野」を整備したほか、乳幼児医療費助成事業や各種ワクチン接種事業など先進的な施策を展開してきました。

教育施策では、南小学校の開校や補助講師の派遣事業、放課後児童室を実施したほか、生涯学習センターを整備するなど、教育施設の充実を図ってきました。

社会資本整備では、佐野茶畑線をはじめ幹線道路網の整備や下水道の整備を進めてきました。産業施策では、新富士工業団地の造成と企業誘致、すその水ギョーザなどの地元特産品の奨励に取り組んできました。

環境施策では、太陽光・熱利用システム助成や市営墓地建設事業などを進めました。防犯防災施策では、裾野警察署を誘致し、消防署須山分遣所を整備しました。また、近年は市内定住人口の増加策として、宅地分譲や住宅新築に対する補助事業も実施してきました。

このような施策により、多くの市民の皆様のご支持をいただき、目標とする「健康文化都市」「暮らし満足都市」実現に着実に近づいてきたものと思います。市長としての達成感も感じています。市民の皆様方には、この 20 年という長きにわたり、大変温かいご理解・ご協力を賜りまして、心から深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。